



CATCH UP

# 自民党は面会拒否 「ワタミ会長公認撤回」の 願いは届かず

六月二十八日の午後、森豪さん(64)と祐子さん(59)夫婦は支援者とともに自民党本部を訪れた。目的はワタミ前会長渡辺美樹氏(53)の公認取り消しを要請すること――。

お二人の娘美菜さん(享年26)は〇八年、ワタミに入社してわずか二カ月後に、月百四十時間を越える過酷な残業を強いられ、自死を選んだ。しかし渡辺氏は、遺族との面談に「録音しないこと」と条件を付けるなど、不誠実な対応に終始しているのだ。

ところがこの日、両親の気持ちはさらに踏みにじられた。訪問をあらかじめ伝えていたにもかかわらず、門前払いされたのである。

「毎日毎日、泣いているんだよ、俺たちは！」

押し問答の中、豪さんがそう言いながら、応対する施設管理者の胸ぐらをつかむ場面もあった。

最終的に応接室には通されたが、幹部はおろか国会議員すら出てこず。こんな渡辺氏同様の「ブラック」な対応に、国民はどのような判断を下すだろうか。撮影 鈴木七絵